

姉妹都市 ニューポート市訪問滞在記(中学生編)



下田東中学校 藤井 千咲

今回の体験を通して私はたくさんのお話を学ぶことができました。

一つ目は、英語を話す難しさです。私は研修に行く前に英語の勉強をしたつもりでしたが、でも、実際にアメリカに行ってみると、緊張してしまい、自ら話すことができませんでした。でも、優しく話しかけてくれる人もいて段々と勇気が出て、とても上手とは言えないけど英語で話すことができました。

英語を聞き取りその答えを頭で素早く考え、正確に答えることは難しいですが、その分話せたときすごく嬉しく達成感を感じました。

二つ目は、英語を話す楽しさです。最初は英語を話すことで精いっぱいでしたが、慣れてくるとコミュニケーションを取ることが楽しくなりました。

いきました。完璧な英語を話そうと、最初は気負いすぎてしまっていました。ですが、とにかく無言にはならないようにし、話したいという気持ちを保持していれば会話はできました。あまり考えすぎず、楽しみながら会話をすることが大切が分かりました。

私は帰国して、英語への関心がより深まりました。これから、たくさん英語を勉強して、また改めてニューポートのホームステイ先の家族に会いに行きたいです。

今回、私がこのような素晴らしい経験をする事ができたのは、周りの人の協力があったからです。これからも英語に触れて成長していきたいです。

稲生沢中学校 平川 拓磨

ニューヨークに着いたときは、どこを見ても日本語は一切書かれていなくて、外国に

来たということを実感しました。ニューヨークでは、ハリス墓参りや市立大学訪問、セントラルパークの散歩などを通じて、現地の文化に触れることができました。

ニューポートでは、下田の黒船祭のときに僕の家にもホームステイしたマイケル君が、今回僕のホストファミリーになってくれたので、マイケル君家族との時間もとても楽しかったです。

英会話はやはり難しかったけれど、単語をいくつも並べたり、ジェスチャーを使ったりしながらお互いの意志や気持ちで伝えることが段々増えてくると、ホストファミリーとの距離もより近く感じられました。

学校のことや好きな食べ物などについても、英語で会話することができました。マイケル君達と一緒に野球観戦やテニス、バスケットなどを楽しみました。

このことばかりでしたが、その初めてやることから学んだことはたくさんあったと思います。なので、この経験を活かして、これから過ごしていきたいと思っています。

稲梓中学校 松本 幸奈

ホームステイ先では、当たり前ですがすべての会話が学校の授業よりスピードがとても速くて返事をするどころか聞き取ることが難しかったです。でも、ホストファミリーの人達は分かりやすいように言い換えてくれたり、ジェスチャーを交えて話してくれました。

一緒にホームステイした藤井千咲さんと協力してなんとか話すことができました。ホストファミリーの人達は私達を楽しませることをたくさんしてくれました。野球やテニスを観させてもらったり、美味しい物を食べさせてもらったり、お友達を紹介してくれたりとしてくれたり、すごく一日一日が早く感じられるくらい楽しかったです。

さらに、部屋は暑くないかと聞いてくれたり、重い荷物

だことも貴重な思い出です。

記念式典やペリー提督墓前祭では、ニューポートの方々から下田のことを大事に思っていることを伝えることが伝わってきました。そして、大西洋に面したニューポートと、僕たちの住む下田が、普段は言葉や文化が全然違う生活をしているけれど、お互いの人の心は通じ合っていることに、姉妹都市としての喜びや、歴史の重みを感じています。

それから僕は、英語がもっと話せるようになりたいと、今回強く思いました。

下田中学校 稲本 歩

一番印象に残っていることはやはり、ホームステイです。最初は不安ばかりでした。

しかし、もう一人一緒にホームステイした、稲生沢中の平川琢磨さんが、英語を教えてくれたおかげで、今まで不安だった気持ちが楽しさに変わ

を持ってくれたりと私達が過ごしやすいように、気を使ってくれました。ありがとう、と言うと笑顔でどういたしましてと返してくれました。とても快適に過ごすことができました。

6泊8日という短い間だったけれど、とても充実したものに感じました。そこでしてきた経験はずっと忘れないくらい大きなものでした。これからの生活で学んできたことを活かしていきたいと思いました。

稲生沢中学校教諭 森 健太郎

自分にとっては2度目の訪問でもあり、期待も大きい反面、4人の中学生の引率ということもあって不安や緊張も感じていました。

7月14日の朝、下田を出発し成田から一路ニューヨークへ。ニューヨークには2日間滞在しました。

前回訪問したときと同様に非常に活気のある観光大都市という印象を受けました。市内のいくつかの名所をバスで巡りましたが、その中でも特に印象に残った場所はグラウ

りました。

ホームステイ先では、バスケット、テニス、サッカーなどで身体を動かしたり、野球観戦、テニス観戦をしたりしました。また、ホームステイしてから二日ぐらい経つと、段々相手が話しているのかが、自分分る単語を探したり、相手のジェスチャーなどで少し分かるようになりました。ホームステイが終わる頃には、初めよりも断然聞き取りができるようになりました。

この研修を通して、日本では体験できないようなことをたくさん体験でき、仲間の大切さや、ホストファミリーの温かさを知りました。

また、今回の体験で英語を喋れるということは、外国人の人々とたくさんコミュニケーションを取ることができ、親睦を深められることが分かりました。今回の体験では初め

ンドゼロです。あの大事件から14年が過ぎようとしていますが、再建されたビルや建設中の建物を見て、着実にアメリカが前進している姿を感じられました。

7月16日から滞在地はニューポートに移りました。ニューポートの黒船祭にも参加させていただき、ニューポートの方々の大きな歓迎を受け、改めて姉妹都市の強い結びつきを感じることができました。下田ほど大きなイベントはありませんでしたが、現地の日米協会の方々の努力をさまざまな場面で拝見できました。

また、自分自身も生徒と同様にホームステイさせていただき、アメリカの一般家庭の生活を体験することができました。

英語を十分理解できない生徒や私にいつでも優しく接してくれ、アメリカ人の明るさや、朗らかさを振りまいてくれました。

生徒達はこのニューポート訪問を通して、一回り成長して戻ってきたと思います。自分自身にとっても大きな財産が残った訪問になりました。

